



## Child Needs Home

令和 1 年度 ( 2019 年 4 月 ~ 2020 年 3 月 )

年間報告書

# 教育支援事業

ミャンマーの子どもたちの笑顔の為に

エイズ孤児や貧困家庭の子どもで人身売買のリスクが高い子どもを対象に学費の支援をしています。定期的に子どもの家庭訪問を行い、子どもの成績、家庭の経済状況を調査し、継続的に子どもが学校に通える状況であるか（生活状況、経済状況が悪化していないか）評価しています。



コウンシャウン、バウチャーの  
家庭訪問



民生員のアミさんの家で  
マンエファレの家庭状況確認



ミガールの家庭訪問



キリスト教の牧師さんに、チャイントン（活動地）の現状のインタビューを  
させて頂きました。

活動地でエイズの方の看取りやエイズの治療薬を配るために貢献しているキリスト教牧師さんより

国境地域の人身売買は減っていません。国境では収入がよいので、貧しい家庭の人は国境で働きたく  
なります。中国人がミャンマー人を買っています。以前は中国人の一人っ子政策により、産まれた子  
どもが、男だったら生かすが、女の子だったら殺すということがあり、村に女の子がいないので、国  
境で働いているミャンマー人をブローカーが騙して、強制結婚させていました。しかし、今は男でも  
臓器売買目的で、売買されることがあります。

チャイントン地域で、よくなっていることは、2011年の民主化後に、政府が少ないと隠していた HIV  
感染者数を発表しました。少ないとしていたのは、軍事政権で強いミャンマーを誇張したかったから  
です。しかし、政権が変わり、海外の NGO が活動しやすくなり、薬を無料で配っています。そして、  
HIV 感染者は、薬が手に入りやすくなったことで、エイズを発症し、亡くなる方は減っています。

ミャンマーでは職業訓練の概念がなく、高校卒業試験に合格すれば、大学に行き、就職。不合格なら、日雇いで農業をする、レストランで働く、家政婦をする、売春するような選択しかありません。日本なら、大学に行かないと決めた場合、商業高校、工業高校など、高校に通いながら専門知識をみにつける学部や高校卒業後に専門学校通うことがあります。ミャンマーにはありません。職業訓練という概念がなく、職業訓練の意味や勉強の必要性を伝えるために、チャイントンで産まれて、チャイントンで働いている専門知識のある若者から、子ども達に向けてお話をして頂きました。



**年齢：**19歳 6人兄弟の3番目  
**職歴：**高校卒業後 大学入学、その後、チャイントンで保育士として働いています。  
※スピーチ内容別紙



**年齢：**26歳 6人兄弟の長男  
**職歴：**高校卒業後 大学入学、その後、チャイントンでドイツのNGO団体に就職しています。  
※スピーチ内容別紙



**年齢：**27歳 4人兄弟の長女  
**職歴：**最終学歴 小学校3年生 美容師になり、チャイントンで美容院を経営しています。  
※スピーチ内容別紙

### スピーチを聞いた子どもや親の意見



良い人生を自分の努力で手に入れたことがうらやましい。僕も勉強を頑張ろうと思えた。



支援を受けて、子ども達に教育を受けさせてもらえるのは本当にありがたい。しっかり勉強させて、あのような自立した大人になってほしい。

# 職業訓練事業

ミャンマーの子どもたちの笑顔の為に

就学を終えた子ども達が、人身売買に巻き込まれないように自立支援を行っています。



インタビュー風景



フロントで働いている様子



訓練校



実習中



以前、訪問させて頂いたシンガポール政府が運営する職業訓練校の卒業生にインタビューさせて頂きました。

彼女は大学に通っていましたが、中退し、職業訓練校に通ったそうです。

訓練校ではホテルで働けるような人材を育てています。

- ①フロント ②ディスプレイ③ハウスキーピング
- ④レストラン (サーバー、バーテンダー、洋食のコック、パン職人)

彼女は半年間フロントの訓練を行い、その後、インターンとして、ロッテホテルで訓練し、その後ロッテホテルで働いています。

彼女は「フロントはホテルの顔です。以前はそうに思ったことはないけれど、今は、フロントの仕事を誇りに思い、働くことができます」と話していました。

大学を出て、会社員などで働くより、職業訓練を得て働いたほうが、収入がよいと話していました。

訓練を受け、専門性を身につけると、自分の技術を誇りに思うことができます。自分の仕事を誇りに思いながら、仕事ができること。彼女の人生は豊かなものになるでしょう。

Child Needs Home が支援している子ども達にも同じような気持ちで、生きていってほしいと思います。



授業中

令和1年度 収支計算書

	令和1年度決算書	平成30年度決算書
I 経常収入の部		
1 会費収入	55,000	60,000
2 事業収入	827,000	876,300
3 寄付金収入	263,942	257,008
4 助成金等収入	0	300,000
5 その他収入	6	4
当期経常収入合計	1,145,948	1,493,312
II 経常支出の部		
1 事業費	682,839	852,630
1)教育支援 事業	682,839	524,173
2)保健教育事業	0	718
3)職業訓練事業	0	299,578
4)フェアトレード事業費	0	13,523
5)国際理解事業費	0	14,638
2 管理費	64,588	138,566
1)給料手当	0	0
2)会議費	0	1,106
3)旅費交通費	0	15,720
4)通信費	13,498	16,287
5)ホームページ管理費	9,147	9,051
6)運搬費	13,579	13,941
7)消耗品費	0	0
8)印刷代	14,580	5,264
9)印刷製本費	0	0
10)文房具	0	108
11)雑費	5,908	12,316
12)備品	7,876	64,773
3 予備費	0	0
1)予備費	0	0
当期経常支出合計	747,427	991,196
当期経営収支差額	398,521	502,116
III その他資金収入の部	71,698	0
その他の資金収入(為替損益修正益)	71,698	0
IV その他資金支出の部	0	0
その他の資金支出(為替損益修正損)	0	0
当期収支差額	470,219	502,116
前期繰越収支差額	1,775,208	1,273,092
次期繰越収支差額	2,245,427	1,775,208

# 活動の支援の方法

【皆様のご厚意の下、アジアの子どもたちに教育を届ける活動に励んでまいります。】

支援方法は、①会員制度 ②チャイルドスポンサー制度 ③マンスリーサポーター制度 ④寄付の4種類があります。

## ①会員制度

正会員 5000 円 学生会員 3000 円 (主に管理費などに充てられます)

## ②チャイルドスポンサー制度

・寄付金額 (子ども一人当たり/月々) 3000 円 4000 円 5000 円  
(支援金は対象の子どもの学費に充てられます)

## ③マンスリーサポーター制度

・一口 月額 1000 円からのご支援

(貧困家庭では、学費の支援だけでは人身売買に巻き込まれます。勉強ができる環境を整えるために支援金は主に医療費や養育費に充てられます。)

## ④寄付

★会員や寄付はこちらの口座にお振込み宜しくお願い致します。

ゆうちょ銀行からのお振込み  
振込先「郵便振替口座」口座番号 00870-3-110656  
加入者名:Child Needs Home

ゆうちょ銀行以外からのお振込み  
振込先「郵便振替座」預金種目:当座  
口座番号:0110656  
店名(店番):〇八九(ゼロハチキュウ)店 089  
加入者名:Child Needs Home



★チャイルドスポンサー制度、マンスリーサポーター制度にお申し込みの方は事務所にご連絡ください。

お問い合わせ: Child Needs Home  
TEL: 070-5031-4728 Email: childneedshome@gmail.com  
URL: <http://www.childneedshome.jp/>



# Child Needs Home

アジアの子どもたちに教育支援、自立支援を行う団体です

あなたの力で子どもたちの道は開けます